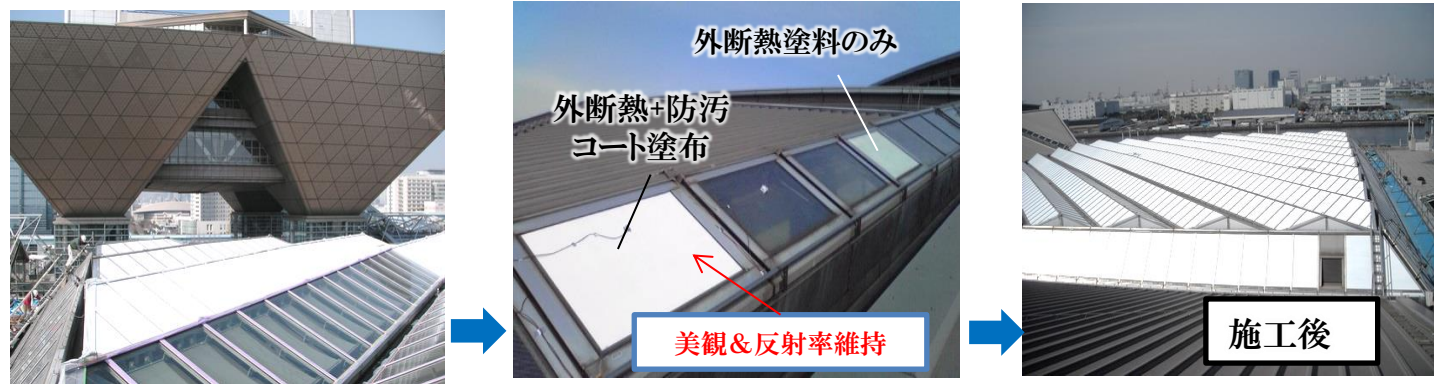


スケッチの強み：長期美観維持（＝赤外線反射率維持）

SUPER GLASS BARRIER スーパーグラスバリア

「スーパーグラスバリア」とは？ 世界1000万㎡の実績
 汚れは付かないことがベストであると考え「**汚れは付きづらくする。付いても取れやすくする**」をテーマとし、開発した防汚コート剤は、帯電防止で黄砂やカーボンのような汚れを極力寄せ付けず、付いた汚れは光の有無に関係なく超親水でセルフクリーニングする世界初となる、無機100%の帯電防止・超親水防汚コートです。1回塗布するだけで、15年以上の耐久性があります。

◆東京ビックサイト 西館屋根/ 高反射遮熱塗装の防汚



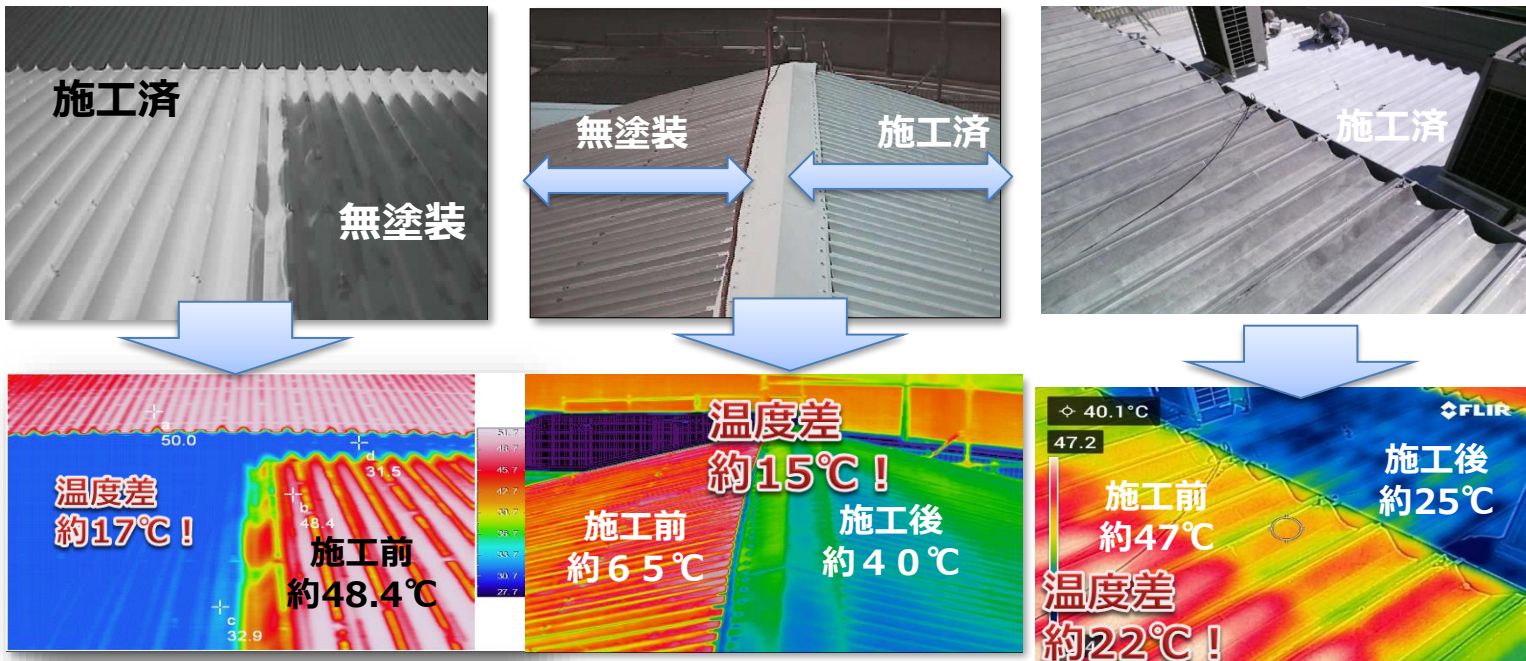
Point 光触媒による防汚コートとの違い

光触媒による防汚性能は、太陽光がコーティング面に照射された時に化学反応で塗膜表面に付いた有機の汚れを分解し、超親水で汚れを落とします。しかし、汚れは黄砂や火山灰など主に無機の汚れもあり、それらは分解できません。光あるなし関係なく、無機の汚れを付着軽減し、超親水になるのが当コートです。

-施工現場例 1-

-施工現場例 2-

-施工現場例 3-



= 赤外線サーモグラフィ =

= 赤外線サーモグラフィ =

= 赤外線サーモグラフィ =

折板屋根
及び屋上

帯電防止・超親水・セルフクリーニングコートを
省遮熱・断熱コートにプラスして
反射率低下防止で業界最高性能

防水、防錆、防汚、遮熱、断熱、超耐候性
遮熱・断熱トリプルガードコート

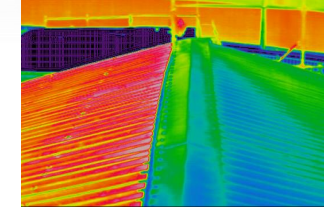
防水、防錆

「ラストシールド」



遮熱、断熱

「省エネカバーコート」



超耐候性、防水、防さび

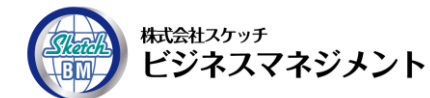
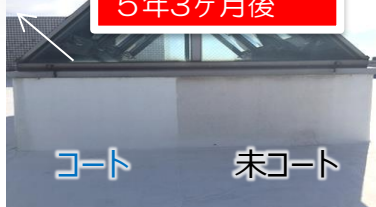
「遮熱シールドPu」



防汚・遮熱性維持

「スーパーグラスバリア」

5年3ヶ月後





超耐候性遮熱・断熱対策・省エネトリプルガードコートとは、


- ①、10年防さび保証
- ②、業界最高の断熱性能;断熱ビーズ層60%で業界一
- ③、遮熱性能維持20年以上でウレタンの2倍以上、トップコート塗り替え無しで大幅コストダウン
- ④、トップコートに帯電防止防汚コートで赤外線反射率維持・業界最高遮熱性能。

上記4つの差別化でこれまでの屋上遮熱、断熱コートの常識を覆す高機能多機能システム。施工コストも1㎡8000円と格安で省エネ対策、問題解決できコストダウンがはかれます。

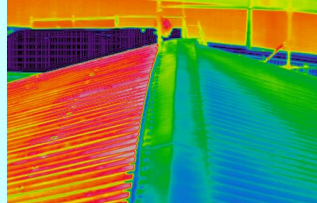
省エネトリプルガードコート 4工程 1㎡8000円

省エネダブルガードコート 3工程 1㎡6000円(省エネカバーコートを除く)


防水、防錆 「ラストシールド」 ① 防さび性能 ② 防水性能	+	遮熱、断熱 「省エネカバーコート」 ③ 断熱性能 ④ 遮音性能	+	超耐候性遮熱、防水 「遮熱シールドPu」 ⑤ 遮熱性能 ⑥ 超耐候性	+	防汚・遮熱性維持 「スーパーグラスバリア」 ⑦ 帯電防止超親水防汚 ⑧ 赤外線反射率維持・遮熱
---	---	--	---	---	---	--




折板屋根には、**10年防錆保証**



:特殊中空シリカビーズを業界最高の12%使用、夏の断熱、冬の断熱性能大幅アップ



:脂肪族系ポリウレアをベースにした20年以上の超耐候性遮熱コート



5年3ヶ月後
コート 未コート
:優れた防汚性能で、高反射率を維持し続けます。コート無しでは10%前後赤外線反射率が低下します。

VS

他社遮熱・断熱コート 2工程

× 一般的なシーラー 防さび性能、防水性能無し	+	③ 遮熱性能 ④ 断熱性能	×	耐候性に大きな差 20年以上の耐候性により、1回分のトップコートコストをカット、大幅コストダウン	×	遮熱性能に大きな差 汚れにより赤外線反射率が低下、遮熱性能が落ちてきます
----------------------------	---	------------------	---	--	---	--

VS

アクリル、ウレタン10年毎フッ素15年毎塗り替え
 他社・塗装2か月後で汚れ発生

他社の遮熱・断熱商品との違い;業界最高性能の理由

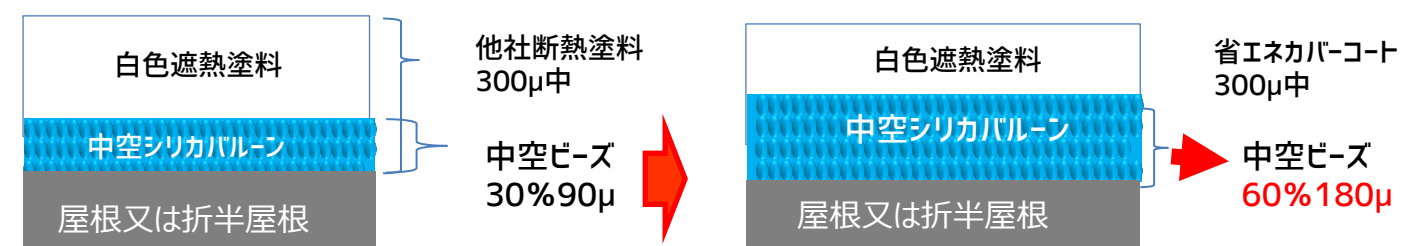
理由その1、防さび保証10年

海岸地区を対象に開発、特殊エポキシにより、赤錆になっているものに対し黒さび化、以後の赤錆の発生を抑えるため、10年以上の防さびを実現。また防水性のポリウレアをトップコートにコートすることにより水の侵入を完全シャットアウトさらに防錆効果を完全なものにします。

理由その2、断熱性能は、中空ビーズの量による。塗膜中60%の中空ビーズにより業界最高の断熱性能

断熱機能がないと効果は半減

現在多くの遮熱、断熱塗料が販売されていますが今回の屋上に遮熱塗料を塗装した場合、夏場の昼間に対しては、遮熱効果があるものの、日が落ちてからの輻射熱に対しては断熱機能がないと効果がありません。又、冬は、遮熱塗料を塗った屋上部分の温度は冷たいのに対し、断熱塗装は、屋上の温度が外気温より高く、空調負荷が少なくなるため、冬場でも省エネ効果が15%以上あります。特に、マイナス温度から25度近くまで空気温度を上げると10度前後から25度まで上げるのでは空調負荷に大きな違いが出てきます。この断熱性能を決めるのは、中空ビーズの量によります。



理由その3、脂肪族ポリウレアの遮熱トップコートにより超耐候性20年以上

シリコン系、アクリル系、ウレタン系のトップコートは、10年毎の塗り替えが一般的です。超耐候性20年以上にするため、脂肪族系ポリウレアの遮熱トップコートにすることで、10年毎の塗り替えがなく、大幅なコストダウンを実現。防さび性能、防水性能も大幅アップ

理由その4、遮熱性能を決める赤外線反射率20年以上維持

長年に渡り、建物がキレイに維持されると共に、汚れ付着による太陽熱の反射率低下を防止します。中空バルーン入り塗料の弱点は表面が多孔質な為、汚れやすく、反射率も落ち、次第に遮熱効果が悪くなります。スーパーグラスバリアの帯電防止セルフクリーニング機能で赤外線反射率の低下を抑えます。

◆鹿児島水族館 / 高反射遮熱塗装の防汚 火山灰対策

